

平 成 2 7 年 第 1 回

当別町教育委員会定例会議事  
要約版

当別町教育委員会

第1回 当別町教育委員会定例会議事（要約版）

日 時 平成27年1月21日(水) 午後3時30分

場 所 役場第2庁舎会議室

出席委員

委員長	白井 応隆
委員	武岡 和廣
委員	寺田 郷子
委員	小林 泰雄
委員	本庄 幸賢

参 与

教育部長	野村 雅史
管理課長	山崎 一
総務係長	村上 賢二
学校教育係長	高島 忠義
学校教育係主査	高田 一魅
一貫教育推進係長	櫻田 克
社会教育課長	長谷川 敏
社会教育課参事	山田 敏行
社会教育課主幹（社会教育担当）	小出 真二
社会教育課主幹（社会教育担当）	林 成興
社会教育係主査	上島 浩
学校給食センター長	森田 弥寿彦
給食係長	春田 秀彦

傍聴者 なし

議 事	日程第1 報告第1号
案件名	平成27年度全国学力・学習状況調査の参加について
説 明	平成27年4月21日に実施される平成27年度全国学力・学習状況調査に参加することについて、委員会に報告するものであります。
質 疑	質疑なし
採 決	原案のとおり承認

議 事	日程第2 議案第1号
案件名	平成26年度教育委員会表彰の被表彰者の選考及び決定について
説 明	平成26年度教育委員会表彰の被表彰者の選考及び決定について、当別町教育委員会表彰規則第5条に基づき、委員会の議決を得ようとするものであります。
質 疑	<p>寺田委員： 弁華別小学校の統計グラフは何を題材としたものでしょうか。</p> <p>管理課長： 「時間を大切に 小学生の今」というものでした。</p> <p>小林委員： 宮永さんは、昨年も乗馬で受賞されていたと思いますが、今回同種目で表彰対象となった理由は。</p> <p>管理課長： 今回と乗馬の部門が違い、前は二段階障害飛越部門でした。</p> <p>委員長： 功労表彰において、選考対象となるのは、委員の在任期間などの基準はありますか。</p> <p>管理課長： 在任期間を基準とした定めはありません。この受賞理由をもって表彰者とするか、お諮りしております。</p>
採 決	原案のとおり決定

議 事	日程第3 議案第2号
案件名	平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」に掲載する当別町の結果報告について
説 明	平成26年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」に掲載する当別町の結果報告を北海道教育委員会に提出するため、委員会の議決を得ようとするものであります。
質 疑	<p>委員長 : 体力・運動能力の調査に関しては、発育・成長段階に個人差もありますし、単純に全国・全道と数値で比較することにどれほどの意義があるのか、正直感じているところ。妥当性にも疑問を感じている。また、数値の設定がしづらいのではないかと。仮に数値を下回ることが即、運動や体力の低下と直結させることにも疑問を感じざるを得ない。体力の問題は、この数値だけでは窺い知ることができないところが多分にあり、おそらく家庭環境であるとか日常生活習慣と密接に関わる問題があるので、単純に数値の比較というものが果たして適切な評価に繋がるのか、今後課題にしながら次年度以降取組んでいただきたいと思います。</p> <p>少年団の活動を自発的に熱心にされている子どもたちは、文化系の子どもたちとは自ずから差が出てきて然るべきでしょうし、体力は必ずしも数値で比較するものでないと感じる。</p> <p>子どもたちが元気に登校し、体育の授業を楽しくみんな仲良く取組んでいることでも十分に運動能力が一定のところにあると理解してもいいのではないかとというふうにも思う。</p>
採 決	原案のとおり決定

議 事	日程第4 議案第3号
案件名	平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書の作成について
説 明	<p>平成26年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における当別町の調査分析結果について、「報告書（案）」を作成したので、委員会の議決を得ようとするものであります。</p> <p>調査の対象学年は、小学校5学年と中学校2学年です。</p> <p>調査分析の内容は、体格に関する調査。体力・運動能力に関する調査。運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査。この3点の調査となっている。詳細は、記載のとおりとなっている。</p> <p>調査分析のまとめと今後の改善に向けて考え方。</p> <p>1点目、本調査における本町の児童生徒の状況は、昨年度と比較して、体力合計点は、小学校男子・女子ともに下回る結果となった。中学校男子は全国平均を上回り、女子は下回る結果となっている。</p> <p>2点目、運動が「好き・得意」と肯定的に答えた割合が全体的に全国平均を上回る結果がみられ、運動やスポーツに対する意識は高いことが推測される。</p> <p>3点目、小学校の男女共に昨年度全国平均を上回った領域が下回るなど、体力の低下が見られており、中学校女子については体力の低下が懸念される。</p> <p>4点目、当別町の児童生徒は、経年して全国と比較すると体格は良いが体力が乏しいといえます。特に、持久力の領域に弱さが見られる。</p> <p>5点目が、児童生徒質問紙調査では、全道と同様の傾向を示しており、児童生徒の運動時間が少ない反面、テレビ等の視聴時間が長い状況が見られている。</p> <p>6点目が、学校全体の取組では、新体力テストを本調査の対象学年以外で実施している割合が少ないことが上げられる。</p> <p>改善に向けての体力向上策についてであります。</p> <p>1点目、新体力テストを活用し、学校ごとに結果分析を行い、学校全体で弱点を解消する体力づくりの取組。</p> <p>2点目、体力の実態を踏まえ、体育指導の工夫改善や数値目標を設定し、1校1実践による体力向上への取組。</p> <p>3点目、スポーツ推進委員等によるスポーツ指導支援の充実。</p>

	<p>4点目、遊びの中から運動の楽しさを学ぶ「コーディネーショントレーニング」等の拡充。</p> <p>5点目、運動やスポーツに対する意識が高い実態を踏まえ、保護者に対する児童生徒の運動習慣の改善に向けた啓発、地域スポーツイベントへの積極的に参加を促す。</p> <p>教育委員会としては、この分析に基づき、各小中学校が作成する体力向上改善プランの指導助言を行って参りたいと考えている。</p>
質 疑	<p>小林委員： 調査の対象学年とありますが、これは、動かせないのでしょうか。小学校5年生と中学校2年生で果たして正解なのでしょうか。中身のデータはこれでいいのでしょうか、対象としている児童生徒の年齢というのは、本当にこれでいいのかなという疑問を持っている。</p> <p>小学校の3年4年辺りと中学校2年生であれば、成長の過程がグンと変わるところが見えていいのかなと思うのですが、対象が5年生となるとそんなに成長の過程が見えてこないのではないかという気がする。中学校2年生は体力テストをやっても恥ずかしがって本気でやっているのかなという疑問もあります。その辺りをちょっと考えながらできればいいなと思う。</p> <p>管理課長： 実施の内容は文部科学省からの指示によります。</p> <p>寺田委員： 私は、これも家庭の取組によって差が出るのではないかと感じていて、そこを学校の取組によってどの程度カバーしていけるのかなと。これから学校が改善プランを出してきて、各学校が体力の向上に取組んでいきたいと思いますとなれば、カバーできるところが明確になると感じている。</p> <p>教育長： 顕著なのは、授業時数が減っていることが上げられます。体育の授業時数が減っていることは微妙に影響してくるのではないかと思う。一生懸命体力テストに取り組むという姿勢については大きなことだと思う。先生方の指導方法にもよりますが、一生懸命取り組む学校は数値が上がっていると思うし、手を抜くところのある学校は、本当の意味での体力の状況が反映されていないのかなと思う。</p> <p>中学校2年生女子の状況を見ますと強化していかなければならないなと思います。持久力については、マラソン大会などの学校行事と関係していると思います。そういった学校行事が少ないことが、持久力の低下に関係している原因ではないかなと思う。</p> <p>寺田委員： 公表する以上何が大事になるかということ、改善策や家庭</p>

	<p>へのアピールなどが大事だと思うので、この辺りの対策を練る時間があるといいのかなと思います。</p> <p>武岡委員： 子どもたちは二極化しているかなと思う。スポーツ少年団で体を鍛えようと考えている親はそういうところに入れて鍛えるし、そういう子どもたちは数値を上げてくれるし、ただ、学力向上を大事にする親は、学力もスポーツもは無理だから、一週間に2回3回塾に通わせて勉強に追い立てる。遊びを中心に人間関係を磨く昔のタイプのような子どもたちも中にはいると思う。</p> <p>結論私はいろいろあっていいと思う。この結果報告もこれでいいと思う。</p> <p>当別中学校の生徒は肥満傾向が少し高い。ここには書けないかもしれないが、家庭への啓発のなかで、食育に関する指導があってもいいかなと思う。</p> <p>男子、女子を分けて体力調査を実施していると思うが、その中でも先生方はしっかり配慮をしてくださっていると思うが、子どもたちの力が正しく出るような環境で実施するようにしていけばいいと思う。</p> <p>委員長： この調査だけで子どもたちの体力を語るのは若干無理があるのかなと思う。</p> <p>この報告書は大変細かく拾い上げてくれているし、子どもたちのいいところも表現していただいている。子どもたちの励みになるように表記されていますので、今後の改善に向けて活かされていけばいいと思う。</p>
採 決	原案のとおり決定